

ワークプラットフォームは安全で快適な昇降式足場です

作業しやすい環境



デッキ上は、幅1.5m最大スパン32mと、とても広々としています。

また、100V電源も備えているため、通常の作業はすべてワークプラットフォーム上から作業できます。

また、2t~5tの積載が可能のため、必要な資材はすべてワークプラットフォーム上に載せて上がることができ、狭い足場内を資材を持って移動する手間がなくなります。

作業姿勢の改善



枠組足場



ゴンドラ



ワークプラットフォーム

デッキを好きな場所で停止することができます。また、ゴンドラのような吊構造とは違い、安定した作業床で作業ができます。

これにより、無理な作業姿勢による負担を減らすとともに、施工精度の向上にもつながります。

安全な作業



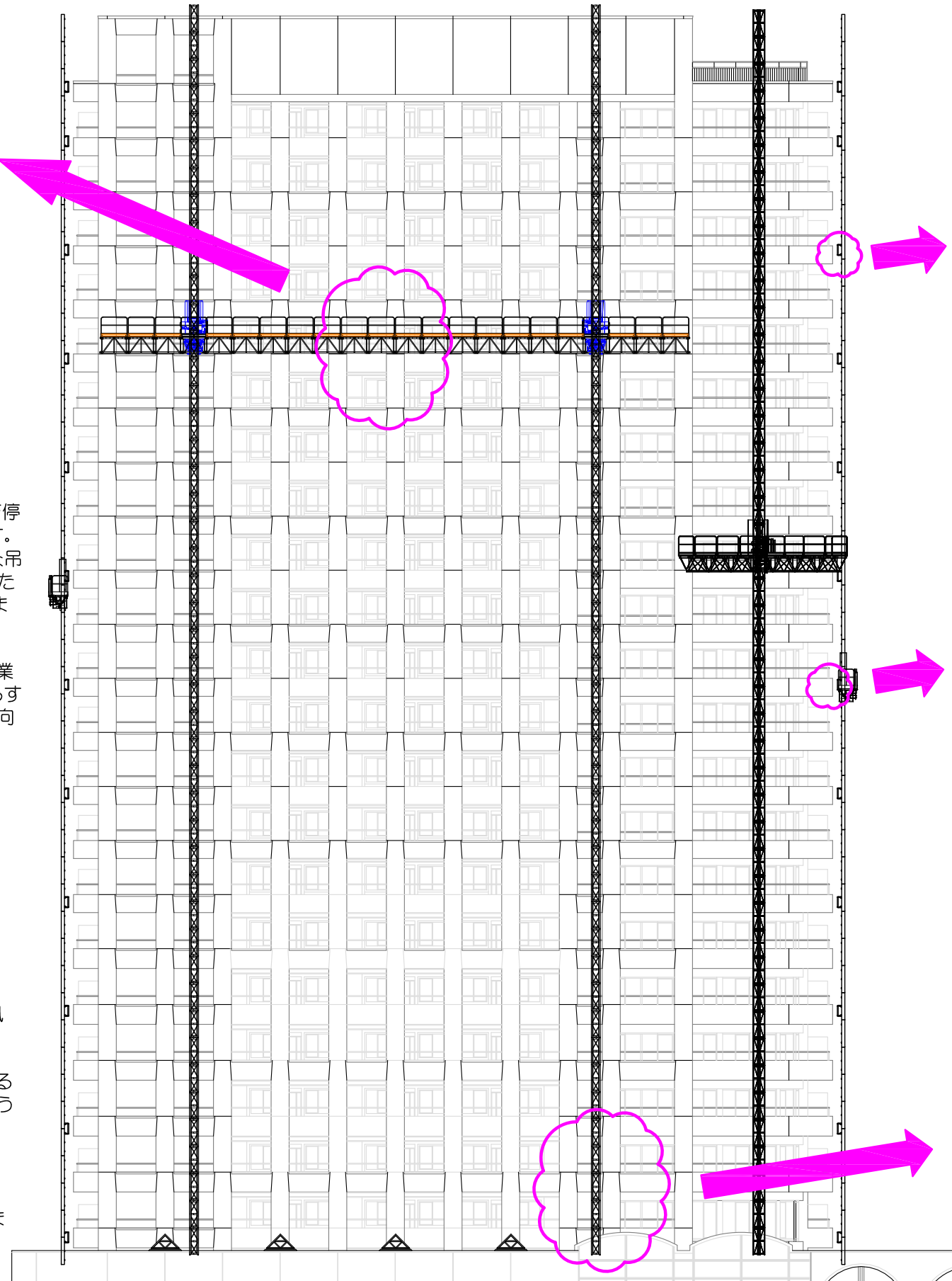
ワークプラットフォームは強固な壁つなぎ構造になっているため、作業床が揺れるようなことはありません。

また、強風や突風にも強く、最大瞬間風速45mの強風でも全く異常がなかったという実績があります。

また、ゴンドラなどは、たくさんの点検項目を実施する必要があり、これを怠ると死亡事故に直結するという問題があります。

(点検項目も適正かどうか判断が付きにくい)

ワークプラットフォームでは通常の建設機械程度の点検で使用でき、また、搭乗には資格などは必要ありません。



ダム補修作業を極力なくします。



壁つなぎは6m間隔で設置できます。

アンカーの使用数量を減らし、最後のダム補修を極力少なくします。

飛来落下を防ぎます。



作業面側手摺には落下防止フラップを取り付け、建物との隙間をなくし、はつりガラ、道具類の落下を防ぎます。

スッキリとした足元



通常の枠組足場のような養生を必要とせず、来客者に圧迫感を感じさせません。